



大震災状況シミュレーション訓練シナリオ（大学図書館版）

saveMLAK

- 発生日時：2012年12月11日（火）13:00
- 発生場所：関東地方、大学の所在地は東京都中野区。
- 発生内容：東京湾北部を震源とする首都直下地震（M7.9）相当。各地の震度は以下の通り。

震度	地域（東京・神奈川・埼玉主要部のみ記載）
震度7	江東区、江戸川区、千葉県北部
震度6強	杉並区、 <u>中野区</u> 、練馬区、世田谷区、板橋区、足立区、台東区、荒川区、墨田区、葛飾区、文京区、新宿区、港区、中央区、千代田区、品川区、大田区、目黒区
震度6弱	豊島区、北区、川崎市南部、横浜市中心部、埼玉県北部、川崎市北部、横浜市北部、埼玉県南部
震度5強	横浜市南部

なお、沿岸部には、大津波警報発令中（ただし、大学所在地は海岸線から離れており津波のリスクは少ない。）

- 訓練状況：
 - 大学規模：私立大学1キャンパス4学部
 - ◇ 教員数：400名（常勤200名、非常勤200名）
 - ◇ 職員数：150名（常勤100名、非常勤50名）
 - ◇ 学生数：9000名（学部学生各学年2000名合計8000名、大学院生ほか合計1000名）
 - 図書館規模：
 - ◇ 図書館蔵書規模：開架20万冊、閉架書庫40万冊
 - ◇ 図書館面積：5000平米
 - ◇ 図書館職員数：8名（当日勤務者：課長、課長補佐、係長、課員各1名、派遣4名）
 - ◇ 図書館在館利用者：200名（教員10名、学生180名、一般開放利用者10名）
 - ◇ 図書館施設：中2Fを含む3F建て、事務室、カウンター、エントランスは2Fに所在、1F、M2（中2F）は閲覧個室（M2の閲覧個室には特別コレクションを設置）を含む閉架書庫、発災時には大部分の利用者は3Fの閲覧室に姿がみえる
 - ◇ 図書館常備品：ヘルメット（10）、懐中電灯（2）、救急箱（1）、軍手（10）※いずれも事務室に常備



本資料はクリエイティブ・コモンズライセンスに基づき利用できます。



■ 進行状況：

時間（現実時間）	状況
9:30～10:00	オリエンテーション
10:00～11:00（12:30～13:00）	発災時行動から館外への一次避難まで ※アクション2回実施
11:00～11:30	一次避難後確認から防災センター報告まで
11:30～12:30（13:00～13:30）	防災センター報告から安全エリアへの二次避難まで ※アクション2回実施
12:30～12:45	講評
12:45～13:45	（ランチ休憩）
13:45～14:15	講評（望まれる行動と東日本大震災での実際の行動）
14:15～15:15	振り返り（ブレインライティングを中心に）
15:15～15:45	振り返りの共有（各班3分／同一シナリオの班を周知）
15:45～16:00	講評／休憩
16:00～16:15	BCP 初歩説明
16:15～17:00	避難マニュアルから BCP までの意見交換
17:00～17:15	全体講評

※アクションカードを引くことで、余震等の発生を考慮しつつ、アクションを発生させる。

■ 班編成：

1班8名（合計10班）、一部7名の班あり。

■ 資料：

東京都地図：

